

# NEWS LETTER



△ ボランティア塾 in 鶴嶺高校(9/28開催) △

## CONTENTS

- ・12月～3月主催イベント
- ・げんき基金補助制度
- ・ボランティア塾 in 鶴嶺高校
- ・開催報告 NPO 講座 1・2
- ・「さぼちゃんが行く！」  
ソーラーハウスにしかわ
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



あんなに長かった夏の厳しい暑さも忘れてしまうくらいの急激な冷え込み！温かい飲み物が恋しい冬の季節になりました。サポセンでは、「サンチャイ・ネパールねばるば」のオーガニックフェアトレードドリップコーヒー（製造者：社会福祉法人翔の会）を販売中。あなたの1杯でネパールにお米1kg、2022年度は534kgが届けられました。まとめ購入も可ですよ～

### 開催案内

#### 第8回 SDGs カフェ 「SOGI・LGBTのことを考える」



昨今、人権や性の多様性への関心が高まる中で、私たちは、自分らしくいられる社会、選択肢の多い未来をどのように描いていけばいいのか、考える機会にしていきたいと思えます。

- ◇日時：2月17日(土) 14:00～16:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇ゲストスピーカー：信濃 小百合さん  
(にじ色のたねを育てる会 代表)

- ◇定員：30名（要申込・先着順）、◇参加費：無料
- ◇申込み切：2月14日(水)

※手話・筆記通訳、託児(生後半年～3歳/先着3名)が必要な方は2/1(木)までにお申し込みください。



12/16(土) 10:00～11:30  
こどたん+(プラス)2024「場所&時間調整会議」

12/17(日) 10:30～12:00  
おしゃべりばー



1/30(火) 13:30～17:00  
ITスキルアップミニ講座「パワーポイント活用！」



3/3(日) 14:00～17:00  
地域の居場所づくり交流会VIII  
「まちなか場づくりのこれから～プレイスメイキング」

3/9(土)・3/10(日)  
「こどたん+(プラス)2024」 **詳細は P2 へ**

3/9(土)～3/21(木) @市役所本庁舎1階  
市民活動パネル展 市民ふれあいプラザ

予告 ver.1

# こどたん<sup>プラス</sup> + 2024



リアル開催↓  
Face to Face



会場は  
ちがさきサポセン↓

詳しい情報は  
次号で紹介

2024年 **3**月**9**日(土) 9:30~15:30  
**3**月**10**日(日) 9:30~15:00

お楽しみに♪

## 館内

- ・手話体験
- ・オリジナル雑貨づくり
- ・サンバ演奏 Time
- ・竹とんぼづくり
- ・KEEP LEFT プレートづくり
- ・科学実験教室
- ・パラフック体験
- ・輪投げ、ヨーヨー釣り など



## 屋外

- ・ソーラークッカー
- ・ネパール雑貨/コーヒー豆・粉販売
- ・保護犬の啓発活動
- ・スーパーボールすくい
- ・木工あそび
- ・木工品やおもちゃの販売
- ・オリジナルアートづくり
- ・無線通信体験 など



## サポセン企画

▶交流会(大人向け) 3/9(土)午後

参加者とゆるっとつながれる場づくりを企画中

▶チラシコンテスト

★その他お楽しみ企画 など

## ボランティア募集

まつりを一緒に盛り上げてくれる方・大募集!

- ・何かやってみたい!
- ・市民活動って気になる~!

興味がある方、お待ちしております♡

※各日の出展詳細は 確定次第 HP などでお知らせします。  
上記掲載の出展内容は都合により変更になることもあります。

## 募集

### 市民活動団体の活動PR

## パネル展示 参加団体募集!

日頃の活動成果やイベント開催の予告、会員募集など、市民活動団体のパネルを市役所で展示します。オリジナルのパネルで活動PR、そして市民活動の輪を広げませんか。

▶展示場所：茅ヶ崎市役所本庁舎1階 「市民ふれあいプラザ」

▶展示期間：2024年3月9日(土)~3月21日(木)

▶募集件数：**28**団体(申込み先着順)

※展示期間中は会場にて市民への直接PRもOK!

- ▶参加条件：①「市民活動団体ガイドブック」で情報公開している
- ②A1サイズのパネル1枚を作成する(サポセンのパネル貸出可)
- ③**3月5日(火)まで**にサポセン窓口へ提出

※「市民ふれあいプラザ」への搬入搬出はサポセンスタッフが行います。

▶申込方法：**12月18日(月)より受付開始** / 電話・メール・窓口にて受付



▲2023.3月に開催時のパネル展示好評だったパネル展を今回も! 団体の思いをパネルに込めてみませんか?

# 補助金を活用してまちの課題を解決！市民がげんきになる事業企画を募集中！

## 「市民活動げんき基金補助制度」令和6年度実施事業の応募書類提出は **12/26(金)まで**

はじめての「スタート支援」と、活動をさらに発展させたい団体向けの「ステップアップ支援」。市民自治推進課職員とサポセンが協力して個別に申請サポートします！「伝わる！企画書作成会」を12/21(木)まで実施。お気軽にご相談ください。(企画書作成のヒントに、過去の申請団体による公開プレゼン資料もサポセンにて閲覧可)

### ●「スタート」と「ステップアップ」の違いは？

はじめての団体は「スタート支援」から。令和6年4月1日を基準日とし設立後2年以上経過している団体は、「ステップアップ支援」からでもOK。

\*回数と補助限度額については右図参照

### ●団体の規約/会則、ホームページは必要？

規約/会則は必須です。団体の理念や運営方法についてメンバーが共通認識を持つことができる、どのような団体であるかを外部に客観的に示すことで社会的な信用が得られるなどのメリットがあります。

ホームページについては、「団体の活動内容に関する情報を公開していること」が条件なので、SNS等で情報発信している、サポセンへデータベース登録している場合は、慌てて作らなくてもOKです。

### ●団体活動はいろいろあるが、どの事業で申請したらよいか悩んでいる

補助金は持続可能な資金ではありません。団体の自立や拡充・発展につなげるためには、次の一歩としてどんな事業を行うとよいか、必要経費のどの部分で補助を受けられるとステップアップできるのか考えてみましょう。団体が目指す少し先の展望、未来像から逆算すると、今何が必要なのかが見えてきます。

普段の活動から見えてきた新たなニーズに対応する事業、支援やメンバー増につながる広報の強化、必要不可欠な備品購入による活動内容の充実などで、補助金が活用できます。

### ●事業企画書に必要な項目は？

**5W1H** (なぜ、いつ、どこで、だれに向けて、何をどのようにしたいのか) を意識すると書きやすいです。実施スケジュールや広報期間、人員体制など、無理なく計画通りに実施することができるのか、団体内で事前にシミュレーションしたうえで、内容はできるだけ具体的に。収支予算との整合性もチェック！

げんき基金は、主に市民や団体、事業者からの寄付で支えられています！

サポセンでは、この夏収穫したゴーヤや寄贈品の販売でいただいた利用者さんからの募金額 9,651 円をげんき基金に寄付しました。

例) 令和6年度にスタート支援から補助を受けた場合

補助金の種類		補助限度額
令和6年(2024)	スタート支援 *1回限り	総事業費の90%または10万円のいずれか低い方
令和7年(2025)	ステップアップ支援1回目	総事業費の80%または50万円のいずれか低い方
令和8年(2026)	*1年間は「振り返り期間」のため申請できません	
令和9年(2027)	ステップアップ支援2回目	総事業費の70%または50万円のいずれか低い方
令和10年(2028)	ステップアップ支援3回目(最終)	総事業費の60%または50万円のいずれか低い方

※補助率は、対象となる事業に要する経費から他の補助金等を控除した額で計算します。

(例) 総事業費が100万円の場合でステップアップ支援を初めて受ける場合、 $100万円 \times 80\% = 80万円$   
 $80万円 > 50万円$ なので、補助限度額は50万円

(例) 総事業費が50万円の場合でステップアップ支援を受けるのが2回目の場合、 $50万円 \times 70\% = 35万円$   
 $35万円 < 50万円$ なので、補助限度額は35万円

### ●収支予算書の書き方ポイントは？

支出に関しては、「募集要項」の記入例を参考に、企画書の事業を実現するために必要な経費項目をすべて洗い出してみましょう。イベントを実施するのであれば、当日の会場使用料や借用備品代、消耗品、講師等の謝金や交通費、お手伝いアルバイトの賃金、広報のためのチラシの印刷製本費などが必要です。内容によっては保険料が必要なこともあります。

収入に関しては、団体の会費や寄付金など補助限度額を超える部分の見込み額を記載します。

必要経費がもれなく計上されているか、事業とは直接関係ない費用が計上されていないか、計算が合っているかなども、提出前に必ず確認！

### ●申請書提出後のスケジュール

応募書類提出後、**3月16日(土)**(時間未定、市役所本庁舎4階会議室)の公開プレゼンテーションにて審査が行われます。関心のある方ならどなたでも傍聴できます。

将来的に補助金に申請してみたいと考えている団体はぜひ参加してみたいはいかが？

# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2023年9月～11月 開催報告

## ■ 開催報告 ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2023

- ◆日時：2023年9月28日(木) 第1部(13:25～14:15)、第2部(14:25～15:15)
- ◆場所：第1部...体育館 第2部...1年生教室ほか (16カ所の教室) ◆対象：1年生 393名
- ◆探究授業内容：第1部...ゲスト 菊池モアナさん (Borderless Tanzania Limited 代表取締役)  
第2部...市民活動団体 16団体による選択授業

2010年から鶴嶺高校の探究学習の授業支援として実施しているボランティア塾では、サポセンが市民活動団体による授業をコーディネートし、団体の活動や思いを直接高校1年生に伝えています。生徒が地域や社会の課題を知り社会貢献や自身の進路・生き方を見つめ直す機会となることを目指しています。

### <菊池モアナさんプロフィール>

菊池モアナさんは現在28歳、1児の母で鶴嶺高校の卒業生です。高校生の時に東日本大震災ボランティアを体験し大学では国際関係学部で学びました。タンザニアで若年妊娠や途中退学が多いことを知り、その探究心から3年生の時にイギリスとタンザニアに留学。調査中に、若年妊娠により退学を強いられ貧困のループから抜け出せずにいたシングルマザーの少女に出会い「なぜそのような状況になっているのか」「何か出来ることはないか」と考えたことがその後の活動につながっています。

最初は彼女一人を援助することから始めましたが多くの人を支援するために海外での起業に挑戦。困難を乗り越えながら現在はタンザニアで生理用ナプキンの製造・販売する会社を営み、若年シングルマザーが働く場所の提供とともに売り上げの一部で貧困層へナプキンの寄付や学校での性教育の活動も行っています。

### <第1部「私が人生で大切にしていること 後輩たちへ

～自分らしい人生を歩むヒントになるお話>

モアナさんの明るく力強い「こんにちは」の第一声とスライドを交えての自己紹介、タンザニアの国や環境の紹介から始まりました。

#### ◇「置かれた現状をどう読み取るか一歩ふみだす勇氣」

- ・今やっていることの紹介
- ・タンザニアの若年妊娠の現状や背景
- ・社会問題を解決する方法

#### ◇「気になるを突き詰めた人生について」

- ・中学時代のいじめ、東日本大震災ボランティア体験、ハワイ単独渡航、日本一周再発見の旅
- ・「トビ立て留学」を利用した海外留学、日本での出産とひとり子育て経験、海外での起業の苦労

紆余曲折の人生経験と圧倒される行動力を明るく屈託のない声のトーンで語るモアナさん。



「いつも意識していることは自分の声を聴くこと、『何でなの？』精神を持ち続けること」の言葉も生徒たちの心に響いたようです。

### ◇進路選択の方法について

#### ▶おすすめワーク①②

「やりたいこと、好きなこと、将来の想像、参考になる人をまねる」などの書き出し

#### ▶トビ立て留学 JAPAN の紹介

最後は「自分を知ること、気になる！を突き詰めた人生を歩みましょう」と締めくくりました。

### <第1部 生徒のふりかえり>

生徒が何に興味を持ち共感し、参考になったのか、アンケートから主なキーワード別に集計しました。

#### ①興味、共感を持てた内容を教えてください

- 行動力がすごい ⇒ 65%  
(留学、海外での起業、女の子への支援活動 など)
  - ・ボランティア活動から世界につながったことがすごい、やってみることが大切、チャレンジする姿勢
  - ・貧困を解決したいと行動に移している
  - ・目標を決めて達成している
  - ・自分の好き、なぜ、気になることを追求する
  - ・知りたいことややりたいことを突き詰めた人生
- タンザニアの現状・貧困 ⇒ 14%
  - ・タンザニアの宗教法律が厳しい・貧困問題は凄く深刻
  - ・自分たちの当たり前がない国もある
- 若年妊娠したシングルマザーの大変さ ⇒ 13%
  - ・10代の3分の1が妊娠、妊娠したら学校に行けなくなる
  - ・タンザニアの女子が置かれている環境が日本とは違いすぎていることに驚いた・生理の貧困

#### ②あなたのこれからの行動や活動の参考になりましたか

- 将来への考え方(行動、判断、勇氣など) ⇒ 65%
  - ・誰かのためになる仕事に就きたいと考えている
  - ・モアナさんの話が後押しをしてくれた
- 自分の進路選択 ⇒ 15%
  - ・留学に迷いがあったが、一歩踏み出そうと心を動かされた、海外、ボランティアに興味を持った
- 自分を知ることの大切さ ⇒ 15%
  - ・自分の心の声に従って行動することはやりたいことをなすために大事な考え、自分に正直になる
- 世界が違いすぎる、スケールが大きすぎるため余り参考にならなかった ⇒ 5%

### ▼体育館での第1部の様子



### ③感想

- ・改めて行動力や実行力がすごい（見習いたい）
- ・生き方が心に響いた、カッコいい、伝え方が上手、お話がわかりやすく面白かった、楽しかった
- ・自分も誰かの役に立ちたい、今の生活に感謝
- ・男性への性教育も必要なのは

暑かった体育館で真剣に聞き入る姿を思い出しながらこの授業が「生徒たちが進んで課題に取り組み、解決に向けて自ら学んでいく」きっかけ作りになっている嬉しさを感じました。

#### <第2部 選択授業と生徒のふりかえり>

各団体とも趣向を凝らした内容になっており、意図したテーマに興味共感を持った生徒が多く、「面白かった」「深く知れた」「知らないことが多くあった」「この授業を機会に自分も行動に移したい」といった丁寧な感想が生徒からつづられていました。



また「ゲームなどの体験、グループワークや討論、他クラス生徒の交流が面白かった」「いろいろな団体をまわりたい」

▲ポッチャ体験/コミュニティーナース茅ヶ崎

《参加団体》チームみつばち/ヒロシマを語る会神奈川/平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会/市民劇団オンリーワン/鶴が台名店街に地域の居場所を作る会/茅ヶ崎 CAD 部/コミュニティーナース茅ヶ崎/筆記通訳サークル「虹」/NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会/BENIRINGO/ふるさとファーマーズ/わんにゃんマルシェ/やさしい日本語おしゃべり会/IAC ウクライナ交流会/サンチャイ・ネパールねばるば/一般社団法人アステム湘南スポーツソサエティ

### ▼脱炭素ワーク/BENIRINGO



「1 時間じゃ足りない」「学んだ時間ことを活用する場、実際に活動に参加できる場をふやしてほしい」などの意見も多く

ありました。

参加団体からは、「高校生と直接接することでたくさんの刺激をもらえた」「授業では生徒がおとなしく不安だったが、最終的には生徒と共感しあえてよかった」との声が寄せられました。また、「時間をもう少し長くできないか」「鶴嶺高校の他の学年や他校へも広げてほしい」「実際のボランティア活動に参加してほしい」など継続と展開を望む意見もいただき、今後のボランティア塾の検討課題と考えます。

世界の急速な変化へ対応するスキルと適応能力が必要とされている現在、「探究、創造、学び」といった新しいデザイン思考は必ず必要になると考えます。自分の頭で考え、どんなプロセスで進み、誰と一緒に協力し、どんな調査をして知識を得るのか、そんなきっかけ作りになるボランティア塾を広めていきたいです。



## ボランティア塾 in サポセン 《菊池モアナさん講演会》

### 「救いたい想いが 社会を変える！28歳の挑戦」



◆日時：2023年9月30日(土) 14:00～16:00

◆参加者：49名(対面+オンライン)

モアナさんの活動をより多くの方に知って欲しい！という思いでサポセンでも開催。小学生からシニアに向けて、「諦めない想い！気になったことから目を逸らさない！」とチャレンジする人生について語りました。

高校生の時から変わらない「支援する側、される側でなく、遠くにできた友達」「困難に面した子が笑顔になると嬉しい・・・嬉しいから、好きだからやっている」これがモアナスタイル！

この事業が軌道に乗ったら、現地の人にバトンタッチして、新たな事業を立ち上げたいと考えているそうです。

参加者の中には関心を持ってひとりで横浜から

来てくれた高校生やモアナさんが高校生の時に南三陸の被災地支援で一緒に活動した団体(TAJ)メンバーの方々も暖かい眼差しを向け、鶴嶺高校の懐かしい先生方も応援の拍手を送っていました。

またモアナさんの愛息 Kei ちゃんの横には大学の後輩が寄り添い、静かに見守っていたことも印象的でした。

当日は、高校生ボランティアも準備から片付けまで講演会を支えてくれました。「考えたことのない生き方を知って凄と思った」「おすすめワークをやってみます」と自身の今後を見据え、感想も述べてくれました。

講演後は、「勇気をもらえた」「活動を支援したい」というみなさんの気持ちがあふれていました。

今後もモアナさんの活動から目が離せません！



タウンニュース茅ヶ崎版(2023/10/23)「人物風土記」、朝日新聞(2023/8/10)DIALOG～明日への Lesson「シングルマザーが未来描ける社会に」でモアナさんのことが紹介されています。10/6(金)茅ヶ崎市立北陽中学校で2年生対象に講演、新聞記事がきっかけで川崎在住の方から寄付をいただけたこと、などさらにつながりが広がっています。



## NPO 講座① 「地域メディア活用法！」

～地域メディアをもっと活用して、市民活動を盛り上げよう！

◆日時：2023年10月21日(土) 14:00～16:00

◆講師：豊田 博美さん（株式会社タウンニュース藤沢編集室） ◆参加者：15名

### ～情報提供のポイントと取材の流れを知ろう～

広報活動もコロナ禍を経て、Web 中心に行う団体が増えています。しかし、「紙媒体」で伝わるチラシや広報紙にも、アナログならではの良さがあります。また、地域メディアの多くは紙面の発行とともに、Web サイトを運営している事が多く、団体が苦手な SNS 発信の作業をせずとも、メディア紙面への掲載と同時に、ネット上でも広く情報発信していくことになります。

本講座では地域メディア現役記者を講師に迎え、団体の活動を記事にするためには、「どのようなところに『注目』して、その『活動』を取り上げるのか」具体的な事例を交えながら、団体の発信力を高めていく方法を学びました。

先ずタウンニュースの紹介から始まり、実際の記事ネタの取り方として、「行政の記者発表や定例会見」「スポンサーや街の中」「日刊紙、テレビ、雑誌、インターネット」など、なかでも強力な情報提供源となっているのは読者や市民団体からの話題提供のようです。

取材ネタを選ぶ基準としては「新鮮性」「社会性」「著名性」「歴史性」「今日性」「進展性」「情操作性」「近接性」「親近性」「希少性」「独自性」「意外性」の12点。

またプレスリリースの作成のポイントは5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）を明確にし、「タイトル、リード、本文」「担当者問合せ先」「写真やチラシなどの資料添付」「詳しくは団体ホームページ」などを A4 1枚程度に、熱意や思いを盛り込んでまとめたものを提出していただきたいとのことです。

その後の取材の流れとしては、情報提供→編集ミーティング→取材申込・日程調整→取材となり、取材方法は、記者が活動現場へ行き、代表者などから直接話を聞くかメールや Zoom などでも対応できるようです。

講演後にはたくさんの質問に加え応援メッセージもあり、地域メディア活用の関心の高さが分かりました。



## NPO 講座② 市民活動団体のための「補助金・助成金 活用術」

◆日時：2023年11月18日(土) 14:00～16:00

◆講師：早川 仁美さん（地域のお茶の間研究所 さろんどて 事務局）  
柿澤 良昭さん（市民自治推進課 協働推進担当）

◆参加者：15名

◆手話通訳：2名

### ～補助金・助成金を活用して団体を成長させよう～

持続可能な団体運営のための補助金・助成金の使い方や申請のポイント、組織運営について学ぶ講座。

2012年から「地域で人と人が出会いつながることを目的に空き家を活用し『食』を中心とした居場所づくり」に取り組んできた「さろんどて」の取り組み実例から、活動資金の集め方や現場のニーズに対応するためにどんな事業を立ち上げ発展させてきたのか、どのようにネットワークを広げてきたのか等お話をいただきました。

「組織運営においては対話が重要。事業ごとに LINE で情報共有している」「事業はすることが目的ではなく目的を達成するための手段。団体内で、しっかりと目的を理解し共有する」「自分たちが持っている『資源』や『強み』を見える化する」「ボランティア確保には HP や SNS などの広報に加え他団体との連携、利用者への呼びかけも効果的」等、経験に基づいた具体的なアドバイスもたくさんいただきました。



参加者同士のミニワークではそれぞれの活動紹介他、自分たちが抱えている課題などについて意見交換。こども食堂や居場所を運営している（これから立ち上げ）団体が多かったのですが、

「活動される方々の悩みや不安を聞く機会があるのはとても参考になる」との声もいただき、新たな出会い、ネットワークづくりの機会にもなりました。

最後は市の職員から市民活動推進補助制度（市民活動げんき基金補助制度）について説明。講座終了後も制度への質問や講師の早川さんへの具体的な悩み相談、参加者の交流が続き、みなさんの熱意を感じました。

「実績から運営の部分も学べて満足」「他の団体とのつながりで win-win の関係で活動していることが素晴らしい」「自分では得られていない情報が盛りだくさん。積極的にネットワーク（横の繋がり）をつくることを決意した」「任意団体でも補助金を活用できると希望をいただいた。仲間とのコミュニケーション、ブレないことの大切さを改めて確認」等の感想がありました。





茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

# さぽちゃんが行く！

団体 FB ▶



## ソーラーハウスにしかわ

ソーラーッキング・太陽エネルギーの普及啓発をメインに、国内外の生活改善や環境教育支援、タンザニアの孤児院支援まで幅広い活動をしています。2024 年で活動 25 年の節目を迎えます。

《代表の西川豊子さんにお話をうかがいました》

### ソーラーッキングとの出会い

24 年前に横浜の NPO 法人ソフト・エネルギープロジェクトという、自然エネルギー推進団体に所属中、現明治大学名誉教授の藤井石根先生が作成した、1.3 畝のパラボラ型ソーラークッカーを団体に寄附。当時ソーラークッカーを知る者がなく、単に料理好きという事で西川さんが担当することに。

使い方の指導の時に焼きそばを作ってもらい、「あー、美味しいなあ！」と思ってから、ソーラーッキングの魅力にハマって今に至るとのこと。

いまの活動をするキッカケは、太陽の恵みを受けた料理が、電気やガスで調理されたものよりも、特別おいしくて環境にも優しいと感動したから!!



2023 年 11 月 18-19 日にかながわ県民センターで開催された「かながわ市民活動フェア」に今年も参加。写真右上が、パラボラ型ソーラークッカー。西川さん自身が考案したクッカーもあります！

### 環境活動で海外支援にも参加

横浜の NPO 法人時代に官庁から声が掛かり、薪の使用量削減・砂漠化防止の試みとして、ソーラーッキングのデモンストレーションでセネガルを訪問。

その後、2008-2012 年までタンザニアの山村における、生活改善の手伝いで毎年 9 月中旬から 10 月上旬に、タンザニア農村青年を支援する会として訪問指導を実施しました。その繋がり、マタンバ村の孤児院に子ども服を送り続けています。

他にもネパール女性自立のための支援など、生活環境が厳しい人たちへの支援も行っています。

以前は国からの助成も受けられた、海外農村地域の過酷な環境下で暮らす人々の応援や生活環境の改善支援も、現在では寄附と自費で行っています。



### 楽しくなければ続かない！

もっと多くの人にソーラーッキングの楽しさを知ってほしい！・・・と「ソーラーハウスにしかわ」を立ち上げたのが 2009 年です。声が掛れば、どこへでも出向いてッキングしたり、クッカー工作教室を開催したり、海外支援も継続しています。

神奈川県立茅ヶ崎里山公園内の北部にある、里の家で 2012 年から「晴れの日にはソーラーッキング in 里の家」を毎月第一日曜日に開催。来園者の方々に活動の楽しさと、環境保護にもなる省エネ生活の勧めを伝えています。

### ソーラーッキングを日常生活に♪

サポセイイベントにも数多く参加され、活動を通して様々なメディアに多々取り上げられることも。

読売新聞では、冬場でもできるソーラーッキングの記事、婦人の友では、西川式クッカーの紹介、NHK「趣味どき！」では、段ボールクッカーのテキスト掲載と番組への出演。2022 年 NHK ラジオ武内陶子の午後カフェ出演、民放「沸騰ワード 10」にも。

そして、テレビの影響は凄いもので、当初は来園者が少なかった「ソーラーッキング in 里の家」へ、地元の皆さんや遠方からわざわざ出向く人も増え、賑やかで楽しいイベントになっています。

また、小中学校に招かれて、段ボールクッカー・ミニクッカー等の工作を指導、完成品で実際に調理する教室を開催。他にも市内外の行政、団体からの問い合わせも多く、多忙な毎日を送る西川さん。

ソーラーハウスにしかわは、今後も地球環境を守り災害時に役立つ活動として、より多くの人に関心を持ってもらい、日常的に取り組めるよう、普及活動を続けていきたい！・・・と、柔らかな物腰と静かな笑顔で語ってくれました。

こどたん+2024 でも、よろしくお祈いしますね！

# お知らせ



## IT スキルアップミニ講座 4

### 「パワーポイント活用！」

団体の活動を効果的に伝えるための資料作りのコツや PR 動画について学びます。

- ◇日時：1月30日(火)13:30~17:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇講師：大木伊都子さん（NPO 法人パソコンボランティア湘南）
- ◇内容：団体 PR 動画制作、スライドマスターで一括編集、オブジェクトの素材挿入、資料 PDF・印刷設定など
- ◇参加費：500 円（資料代）
- ◇定員：15 名（要申込・先着順/1 団体 2 名まで）
- ◇対象：市民活動団体、自治会、社会福祉法人、公益法人、その他公共施設スタッフ、興味のある方など
- ◇持ち物：筆記用具、ノート PC
- ※OS：Windows10・11、PowerPoint2016 以降
- ※デスクトップ PC の方は、サポセンの貸出 PC が利用可能（要申込/先着 2 名まで）



詳細・申込はコチラ▶

## パソコン湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンで相談！

開催日：第 2・第 4 月曜日(無料・予約制)

①13:00~14:00 ②14:00~15:00

③15:00~16:00 ※各回定員 2 名

※申込受付：毎月 1 日から

※お申込みは、[直接 NPO 法人パソコン湘南へ](#)

TEL 申込(16 時以降)▷杉岡さん 090-9543-0070



詳細はコチラ▲

## Duplo 「印刷機(単色刷り)&紙折り機」

NEW

新しくなりました！

せっかく使い方に慣れていたのに...と心配された方、安心して下さい♡操作は前の印刷機とほとんど同じ。写真やイラストをきれいに印刷したい場合はデータを USB メモリ等で持ち込みがおススメ！詳しくは、スタッフまでお声かけください。印刷機(DP-X850)、紙折り機(DF-999)

★インク：黒色のみ(他色導入検討中)

★印刷機料金：変更なし(1 製版 440 枚まで 100 円)

★紙折り機料金：変更なし(2000 枚まで無料)

♡皆さんの広報をお手伝いする大切な機器類です。取り扱いはずっと丁寧...お願いします♡

## SNS で情報発信中！

サポセンの SNS でも市民活動のイベントやお役立ち情報が GET できます。ぜひ活動のおともにチェックを！

Facebook



X(旧 Twitter)



インスタグラム



## 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月 1 日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷12/1 号：筆記通訳サークル「虹」

▷1/1 号：ピースカフェ・ちがさき

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

## サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

12月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- ・12/9 PM ボランティア塾参加団体交流会
- ・12/16 AM こどたん+(プラス)2024 「時間&場所調整会議」
- ・12/27 PM~年末年始休館

1月

月	火	水	木	金	土	日
①	②	③	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

・1/30 PM IT スキルアップミニ講座 4

2月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

・2/17 PM SDGs カフェ 8

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

## ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30~21:30 (休館日：毎月第 3 水曜日、年末年始(12/28~1/3))

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき

(指定管理期間：2021 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日)

サポセンキャラクター “さぼちゃん”



サポセン HP